

研究・調査報告書

報告書番号 135	担当 独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Effect on plasma insulin and plasma glucose of consuming white wine alone after a meal. 食後の白ワイン摂取が血漿インスリンや血漿グルコースレベルに与える効果	
執筆者	
Kokavec A, Crowe SF.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Clin Exp Res. 2003 ;27(11):1718-23	
キーワード	
白ワイン、インスリン、グルコース	
要 旨	
<p>動物を用いた研究ではアルコールがグルコース刺激性のインスリン濃度を減少させる事が報告されている。本研究の目的は動物で観察されるようなアルコール誘導性のインスリン濃度の減少が、人が食後白ワインを摂取したときに観察されるか否かについての検討を行った。19-22歳までの8人の非糖尿病性被験者を対象とした。45分間で提供された食事を摂取してもらい、3種類の標準的な白ワイン(30g)を90分にわたり摂取してもらった。血漿インスリンや血漿グルコースレベルは45分間隔で測定した。その結果、食後のアルコールの摂取が15gとなったところからすべてに被験者でアルコール誘導性の血漿インスリンレベル減少が観察された。しかし、インスリン分泌に伴う血漿グルコースレベルの有意な減少は観察されなかった。</p> <p>以上の結果から、白ワインを食後それのみで摂取するとエネルギー利用性を有意に変化させグルコース対処の変化を引き起こす可能性が示唆される。</p>	